

テクノロジーで人々を適切な医療に案内する

Ubie株式会社



Ubie株式会社について

医師とエンジニアで創業

「人々を適切な医療に案内する」がミッションの
地域の医療と人をつなげる 医療AIスタートアップ企業

社名: Ubie株式会社

代表: 阿部吉倫(医師)、久保恒太(エンジニア)

設立: 2017年5月(創業5年目)

従業員: 180名(2022年1月現在)

<https://ubie.life/>

社名の由来: "指"で医療にアクセスする





Abe Yoshinori

阿部 吉倫

Ubie株式会社 共同代表取締役 / 医師

1990/2/9 生まれ

- 2015年 東京大学医学部医学科卒
- 東京大学医学部付属病院、
東京都健康長寿医療センターで初期研修を修了
- 2017年5月 Ubie株式会社を共同創業
- 2019年12月より
日本救急医学会救急AI研究活性化特別委員会委員
- 2020年 Forbes 30 Under 30 Asia
Healthcare & Science部門選出



Kubo Kota

久保 恒太

Ubie株式会社 共同代表取締役 / エンジニア

1989/10/17 生まれ

- 東京大学大学院工学系研究科卒
- エムスリー株式会社で約2年、医師Q&AサービスなどのBtoCヘルスケア領域のソフトウェア開発およびWebマーケティングに従事
- 2013年東大在籍時に今のUbieの原型となるプログラムを研究開発し始める
- 2017年に阿部とともにUbieを創業

実績(主要なものを抜粋)

- 2019/08 厚労省 医師等の働き方改革の補助金交付「タスク・シフティング等医療勤務環境改善推進事業」
2020/09 ユビーAI問診が対象でサンプルにAI問診明記
- 2020/01 日経ヘルスケア クリニックでのユビーAI問診活用事例紹介 "事前のAI問診で頭痛の問診時間を3分の1に"
- 2020/04 ユビーAI受診相談を提供開始
- 2020/06 日本テレビ「news zero」クリニックでのユビーAI問診活用事例紹介
- 2020/08 フジテレビ「Live News α」コロナ禍におけるクリニックでのユビーAI問診活用事例紹介
- 2020/10 日本サービス大賞の「厚生労働大臣賞」「審査員特別賞」受賞
- 2020/11 日本医師会・経産省セミナー登壇(「withコロナ時代の医療機関の課題解決の取組」)
- 2020/12 海老名市・海老名市医師会・海老名総合病院にて「ユビーAI受診相談」のコロナ対策での活用開始
- 2021/01 緊急事態宣言を受けてユビーAI問診のクリニックへの無償提供開始
- 2021/07 ユビーリンクの提供開始
- 2021/12 東京都医師会と生活者・住民向けにユビーAI受診相談の連携

社会背景

共同代表の阿部が研修医時代に直面した医療をとりまく課題

病院「内」の課題

医療現場の
過酷な労働環境

病院「外」の課題

患者と医療の距離
“メディカル
ディスタンス”の遠さ

病院「内」の課題

疲弊する医療現場、立ち行かない病院経営

医療は未だに現場の医療従事者の身を削る仕事によって成り立っています。

医療の機器類や電子カルテは患者治療の強力な手段である一方で“スマート”でないそれらのシステムは使いこなす医師には大きな負担となっています。

医師の雇用と労働環境を守るはずの医療機関も財政難から経営が立ち行かなくなっています。

今の医療、未来の医療を守るためにUbieは医療提供者が必要とするものを最速で提供していきます。

42.5%

医師の燃え尽き症状発症割合

過労死ライン2倍の労働時間

1,860時間

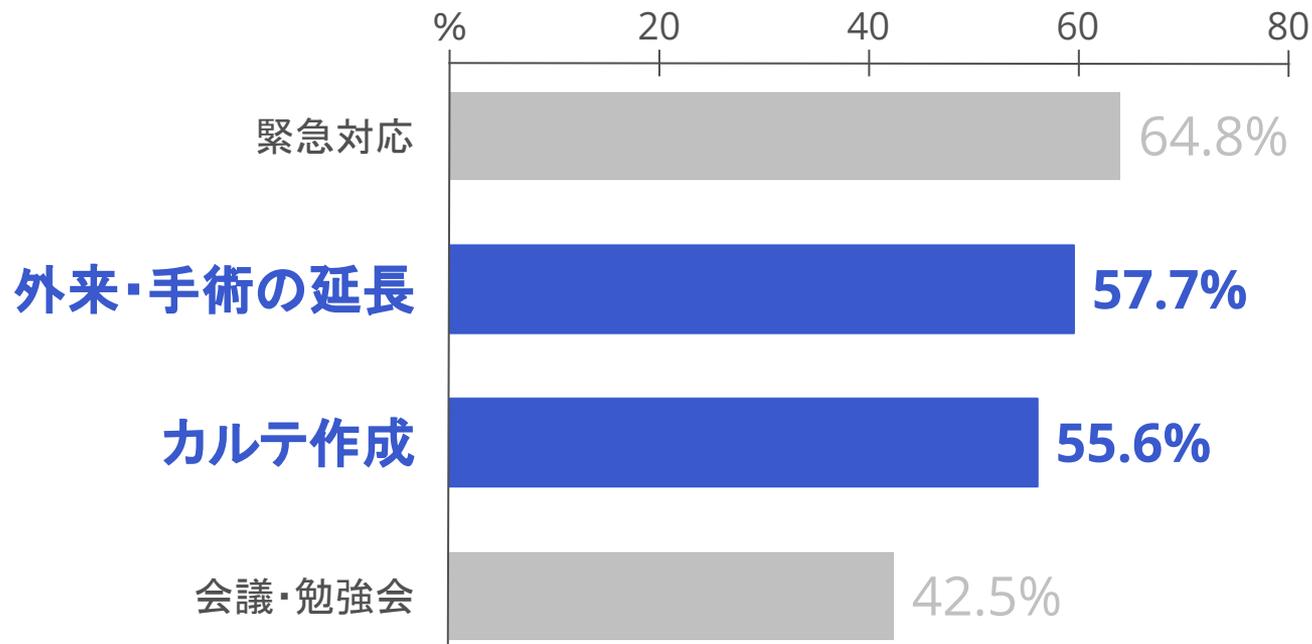
昨年策定された医師の労働時間上限

医師の雇用を守る病院も経営が限界

1500病院

1999~2019までに閉院した病院20床以上

医師の時間外労働の主な理由



厚生労働省「医師の働き方改革に関する検討会」より

医師は、医師本来の診療業務以外で忙殺されている

外来診療が増えると...

+1時間

それ以上に

電子カルテ記載など事務作業が増える

+2時間

+1時間

* Annals of Internal Medicine (2016年9月)

自覚症状を抱える人は多い

30.5%

国民の有症状者率

しかし、受診機会は逸失されている

63.5%

「様子見をしていたため」受診が遅れた人の割合

不要な受診も多く発生

12.9回/年/人

OECD平均の2倍以上の受診回数

病院「外」の課題

適切なタイミング、適切な医療

全国に医療機関が行き渡り、理論的には皆が世界標準の治療を受けられるこの国でも、適切な医療を受けられていない人が多くいます。

手遅れになってから診断され、救えるはずの命が救えない人。

複雑な医療制度の中で、適切な医療を見つけられずに受診を繰り返す人。

ネットの情報に一喜一憂し、正しい医療情報にたどり着けない人。

全世界の人が適切なタイミングで適切な医療を受けるまで、Ubieの挑戦は続きます。

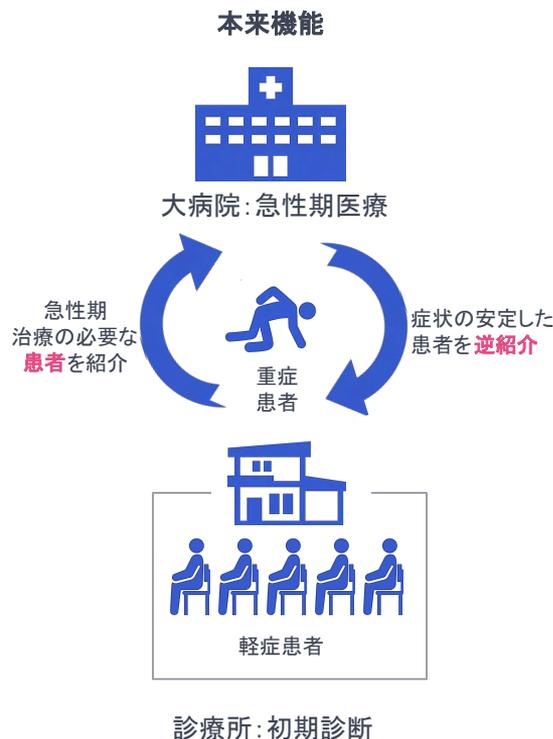
医療と患者の距離”メディカルディスタンス”の遠さ

自身の判断で、適切なタイミングで適切な医療にかかるのは難しい

ケース1:軽症者の「コンビニ受診」

総務省消防庁によると全国で10年に救急車で搬送された患者498万人のうち、**50.4%が入院などを必要としない軽症**だった。病院や業界団体などの中には**安易な救急車の利用や夜間、休日時間帯の救急外来の利用をコンビニエンスストアに行く気軽さと重ね合わせて「コンビニ受診」と呼んで批判する声も少なくない。**

出典：NIKKEI STYLE 2012/5/9

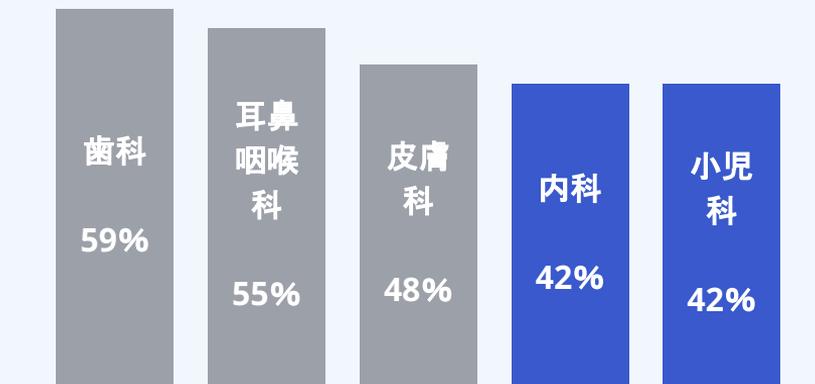


医療と患者の距離”メディカルディスタンス”の遠さ

自身の判断で、適切なタイミングで適切な医療にかかるのは難しい

ケース2:コロナ禍で加速する重傷者の「受診控え」

受診控えや重症化が報告された診療科



出典：神奈川県保険医協会2020/08

新型コロナウイルスへの感染を懸念した医療機関への「受診控え」で、他の疾病を悪化させるケースが出ている。がん検診を控えた結果、肺がんの発見が遅れて死亡するケースが確認されているほか、生活習慣病の悪化を憂慮する声も。(中略)新型コロナによる国内の死者はこれまでに約1600人。対して、肺がんによる死者は毎月数千人に及んでいる。同協会の担当者は「来年以降のがんの発見が増えるとともに、がんの中でも進行がんの割合が増えることが懸念される」と警告する。

受診控えが生じているのは、がん検診だけではない。日本生活習慣病予防協会が全国338人の医師を対象に行ったアンケートでは、半数以上の191人が生活習慣病に関する受診控えについて「増えている」「とても増えている」と回答。うち186人は、痛風などの発症が増加すると考えていることが分かった。

出典：産経新聞2020/10/05

Ubieの事業

Ubieが提供するサービス



診察事務を1/3に効率化

導入施設
500超



<https://intro.dr-ubie.com/>



症状から受診の手がかりがわかる

利用者
月間
450
万人超



<https://ubie.app/>

ユビーAI問診とは

紙からデジタルに。問診業務を効率化し、医療従事者の働き方改革をサポート



ユビー
AI問診



患者の主訴や訴えに応じ
質問を出し分け。事前問診が充実



記載がほぼ終わった状態から
追加聴取するだけ



一括コピー&ペーストにより
カルテ入力時間を短縮

ユビ—AI問診の特徴

特徴① 患者ごとに問診事項が最適化

タブレット

スマホ

主訴入力

お困りの症状やその場所を短い文（例えば「あたまがいたい」「ひざをすりむいた」）で入力して、「候補から選ぶ」を押して選んでください。

今日は **例: あたまがいたい** を診てもらいたい

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん
え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	ー
お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゆ	ろ	っ

前へ戻る 候補から選ぶ 一字消す

自由入力形式

主訴入力のみ自由入力。3文字以上入力すると検索候補キーワードが表示されます。

※症状によっては1文字でも候補表示が可能

基本的な問診事項

目の症状のたいの場所を選択してください。
（目痛がたいのときは、痛んだ場所をもう一つ選択してください。）

【目が痛い】について、最もつらかったときを1から10で表すとどれくらいの痛みでしたか？

左右の [+][-] のボタンで操作してください

痛覚がある 人生で最大の痛み

前へ戻る 次の画面へ進む わかりない

選択形式

主訴入力以外はすべて選択式。直感的なデザインなので、迷わずサクサク答えることができます。

参考病名表示のための問診事項

「目が痛い」についてお聞きします。症状（もしくはその原因）として一番近いものを以下から選んでください。

- 切った、もしくは指が割れた
- ぶつけた・打った
- 磨りついた
- やけどをした
- 動物や虫によるケガをした
- 交通事故にあった
- この中に該当するものなし

前へ戻る 次の画面へ進む

疾患A
疾患B
疾患C
疾患D

ユビーAI問診の特徴

特徴② いつでもどこでも事前問診が可能

スマホ



タブレット版と質問の内容・精度は基本的に同じです

来院前の自宅や職場で
待ち時間に医療機関の駐車場で
患者自身のスマホで問診ができます

ユビーAI問診 医師画面の特徴

特徴① 問診内容を自動で「医師語」に翻訳

The screenshot displays the 'SOAPエディタ' (SOAP Editor) interface. At the top, it shows 'SOAPエディタ' with a help icon, radio buttons for '編集版' (selected) and '初版', and a '変更を表示' button. Below this is a checkbox for 'COVID-19院内トリアージ実施記録'. There are buttons for '持参薬' (with a red '入力あり' tag), '紹介状', and 'この問診を評価する'. A '文字サイズ' dropdown is set to '小', and a 'サマリーを表示する' checkbox is present. The main text area contains the following content:

【主訴】
頭が重い、紹介状を持ってきた

【現病歴】
3月13日（問診の1日前）に頭痛、めまいが出現している。
頭痛は突然発症で
前頭部、眼珠の奥にNRS3/10くらい。
数分から4時間程度続き悪化している。
重くしめつけられるような感じ。首を素早く左右に振ると悪化する。夜間に悪化する。
ストレス・不安で悪化する。
これまでに1回以上同じような症状があった。
主な陰性回答（患者が「認めない」と回答）：
嘔気・嘔吐、しびれ・感覚障害、頭痛の前に脱力感があった、頭部外傷

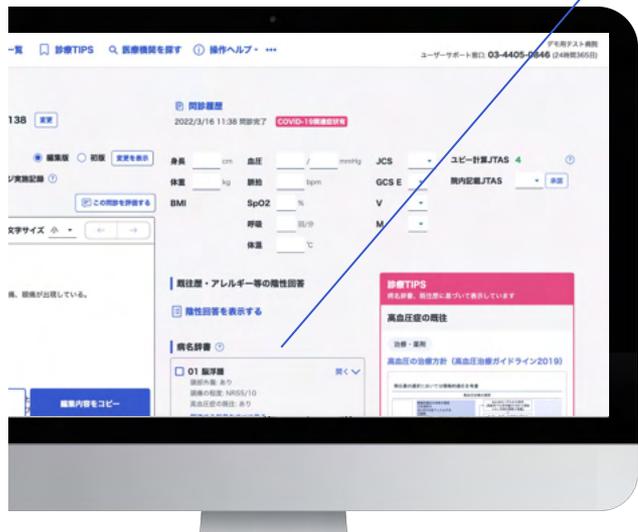
At the bottom, there are two buttons: '編集内容を印刷' and '編集内容をコピー'.

電子カルテ作成をサポート

- 問診結果を医師の表現に即時変換
ex)生活に支障をきたす痛み→「NRS8/10程度」
- 診察内容を追加・編集可能
- バイタル・持参薬などの情報も自動出力
- コピー&ペーストをするだけで
電子カルテの作成が完成

ユビーAI問診 医師画面の特徴

特徴② 問診の聞き漏れを防ぐ「参考病名リスト」



病名辞書 ?

- ▲ 01 急性胆嚢炎** 開く >
胆嚢摘出術の既往: なし
食事での腹痛増悪: あり
飲酒での腹痛増悪: なし
関連する所見をすべて見る
- ▲ 02 急性虫垂炎** 開く >
熱が出る前からお腹が痛かった: あり
飲酒での腹痛増悪: なし
腹部圧痛: あり
関連する所見をすべて見る
- 03 ウイルス性胃腸炎** TIPSを見る 開く >
下痢の性状: 便是水っぽい
下痢: あり
心高部痛: あり
関連する所見をすべて見る
- 04 細菌性胃腸炎** TIPSを見る 開く >
下痢の性状: 便是水っぽい

AI問診の技術

01

国内外の医学論文

50,000本以上をデータベース化

02

毎日、リアルタイムで取得される**医師**

による**臨床診断データ**を

自動的に反映

ユビーAI問診のメリット

問診の**効率化**と**充実化**を実現し、安心安全な外来づくりをサポート

患者のメリット

患者満足度の向上

紙問診への記述では、思っても伝えられない事が多い。AI問診では出てくる質問に対し答えるだけで、より深い状況を伝えられるため、しっかりと診ていただける安心感を与えられる。

院内滞在時間の削減

医院ホームページ上から事前に問診が実施可能。院内での問診が不要になり院内滞在時間が削減できる。

ユビー
AI問診

医療機関のメリット

事務業務の圧倒的効率化

問診結果を瞬時に医師の表現に変換して表示。内容を確認・追記し、最後は電子カルテにそのまま貼り付けるだけ。スキャナー機能もご活用いただくと事務業務を圧倒的に効率化できる。

院内感染リスク対策

Webからの事前問診内容を確認することにより、COVID-19疑い患者に対する適切な案内が可能。

見落とし防止

問診結果をもとにAIが最大10個の関連する病名を表示。診察時のサポートとして活用可能。

ユビーAI問診の導入効果(東京都医師会理事 目々澤醫院にて)

外来の問診時間

1/3に短縮

(1問診あたり約6分削減)

導入前 10.26±1.63分(n=48)

導入後 3.54±1.46分(n=164)

2018年11月 頭痛学会にて論文発表



「AI問診Ubie」は頭痛外来問診の時間短縮に有用である

AI clinical interview system "Ubie" shortened a interview time in
Cephalalgia Clinic

目々澤醫院、日本医科大学神経・脳血管内科 目々澤 肇
日本医科大学神経・脳血管内科 木村 和美
Ubie株式会社 阿部 吉倫

【目的】最近の医療に対する批判でよく聞くのは「医師が患者の顔を見ずにパソコンしか見ていない」ということである。電子カルテは医療の水準を引き上げ、確実な医療記録を残し、さらには医療連携へもつながる大切なツールであるが、「電子カルテを書くこと」が目的化した医療は本来の姿とは言えない。目々澤醫院では頭痛外来にAIを用いた問診システムUbie (Ubie株式会社製)を導入し、問診に要する時間を短縮したので報告する。

【方法】2017年12月より目々澤醫院頭痛外来に初診したすべての患者(年齢13-80歳、男性48名・女性116名)にタブレット端末(iPad)上で作動する「AI問診Ubie」を用いて問診を行った。問診結果は電子カルテの作動するPC上のブラウザで開いたUbie医師画面から確認し、自動問診の確認と補足事項を聴取して問診を完成させた。

【成績】Ubie導入前の問診時間は10.26±1.63分(n=48)であったのに対し、導入後の問診時間は3.54±1.46分に短縮した。

【結論】タブレット端末上で「AI問診Ubie」に患者が入力した情報は電子カルテにそのままコピー・ペーストすることができ、かつ必要な修正を加えれば頭痛外来の問診としても十分に通用した。また、自分で問診をしていた頃には「あの症状の有無を聞き漏らした」という事態が生じることがあったが、Ubieには「陰性症状」を書き出す機能があり、後で確認するのにも役立った。さらに最新のバージョンアップでは患者が待参したおくり手帳をスキャンし、ジェネリック医薬品があればその先売品まで表示される機能が内蔵された。こうしたツールの導入により、頭痛外来の時間短縮が可能になったことは医師の働き方改革にも役立ち、本来の対面診療により時間をかけられるようになった。

外来初診短縮による経営効果 試算

年間約1,000時間の事務作業削減が期待(初診 30人/日 程度の病院の場合)



※ 年あたり問診時間: 外来患者数9万人/年(7,500人/月)、初診率10%、初診患者数9,000人/年(750人/月)と想定
(初診30人/日 × 1患者当たり約7分削減 × 25日 × 12ヶ月 ÷ 1,000 時間)

患者さんの滞在時間を20分以上削減



岡山県

公益財団法人 操風会 岡山旭東病院

土井 英之 副院長

榑原 祥裕 情報システム室長

受付～診察までの待ち時間

3.5分削減

Before 53.4分



After 49.9分

受付～会計までの滞在時間

21分削減

Before 189分



After 168分

問診看護師の省力化と配置の最適化へ

問診時間

1/2削減

Before 15~20分



After 7~8分

受付看護師の人員

2名を病棟配属へ

Before 10名



After 8名



京都府

済生会京都府病院

藤 信明 副院長

中川 雅夫 経営企画課 課長

松村 優 経営企画課 係長

ユビーAI問診 導入実績

リリースから4年で、500以上の医療機関が導入

導入済み医療機関数

500+

地域カバレッジ

47 /47 都道府県



ユビーAI受診相談とは

自宅などにてスマートフォン等から、**症状に関連する病名や近くの医療機関を調べる** ことができる
通常疾患に加え、新型コロナウイルス (COVID-19)の症状チェックも可能



生活者の適切な受診行動をサポート

これまでの受診行動

適切な受診先・タイミングがわからない

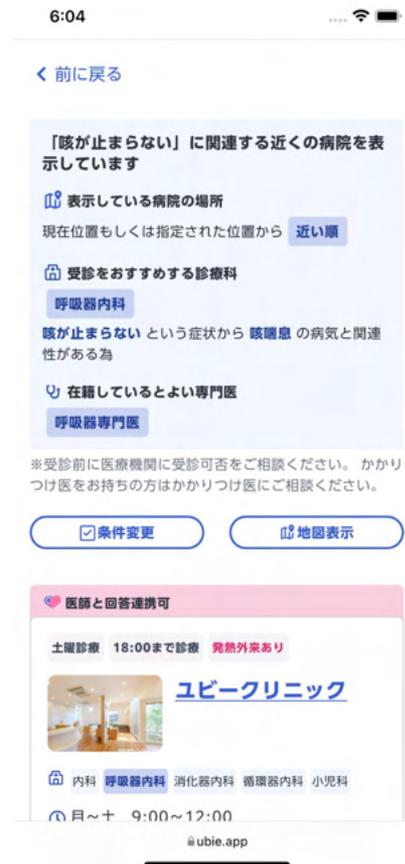
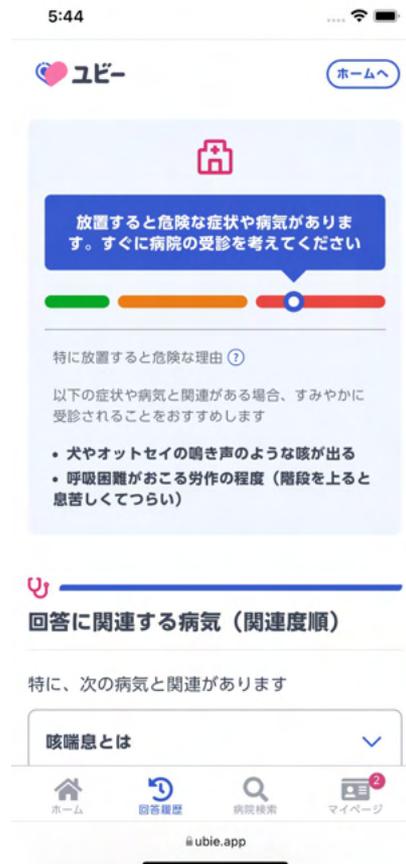
- 軽症重症に関わらず救急・大病院へ
- 受診控えによる家庭や職場等での感染拡大・重症化
- 新型コロナの院内感染拡大の一因に



ユビーAI受診相談を使った受診行動

適切な受診先・相談先が調べられる

- 通常疾患および新型コロナのAI受診相談
かかりつけ医や#7119等の公的機関等への
受診前TEL相談を案内



【かかりつけ医向け】地域住民とかかりつけ医をつなぐ「ユビーリンク」

ユビーAI受診相談を活用して、クリニックの情報掲載、予約導線の設置、生活者の回答の
事前共有が可能となりました(登録・利用無料。2021年7月27日スタート)

生活者とかかりつけ医をつなぐクリニック向け新サービス「ユビーリンク」開始

登録・利用無料で、月間150万人利用の「AI受診相談ユビー」を通じたクリニックの情報掲載、予約導線の設置、患者が回答した症状の事前受信が可能に

Ubie株式会社 🕒 2021年7月27日 11時00分

51
いいね! シェア ツイート はてな 楽天DL その他

Ubie株式会社(本社:東京都中央区、以下「Ubie」)は生活者と地域のかかりつけ医(クリニック)をつなぐ新サービス「ユビーリンク」を本日より開始します。ユビーリンクでは、月間150万人が利用するWeb医療情報提供サービス「AI受診相談ユビー」を通じたクリニックの情報掲載、予約導線の設置、生活者の回答した症状の事前送付が可能となります。クリニックが当サービスを登録・利用するにあたっては費用はかからず、無料です。なお、本サービスは普及に向けた共同展開を株式会社スズケン(愛知県名古屋)と実施します。スズケングループが保有する全国の医療機関へのネットワークやMS(営業担当者)による提案機能により、早期に必要な医療機関へのサービス提供およびサポート体制の構築に努めます。



ユビーリンク
「AI受診相談ユビー」にあなたのクリニックを無料掲載しませんか?

- 月間利用者 **150万人**
- 掲載の手間 **なし**
- 近隣患者の **認知UP**
- 利用料完全 **無料**

日本経済新聞

トップ 速報 オピニオン 経済 政治 ビジネス 金融 マーケット マネーのまなび テック 国際 スポーツ 社会・調査 地域

ユビー、受診相談サイトで診療所予約支援

ヘルスケア フォロー済み

2021年7月26日 17:34 [有料会員限定]

📌 保存 📄 📧 📱 🐦 📘 📌



ユビーは主力商品の販売拡大に予約サービスを始める

医療スタートアップのUbie(ユビー、東京・中央)は27日、受診相談サイトで診療所を予約できるサービスを始める。診療所は無料で導入でき、新規の初診患者を受け入れられる。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため事前の予約を求める医療機関が増えているのに対応する。

【かかりつけ医向け】地域住民とかかりつけ医をつなぐ「ユビーリンク」



1. 症状チェック

患者様が
ご自身のスマホで
症状チェック

2. 貴院を選択

症状チェック後
近隣の医療機関を探し
貴院を選択

3. 問診を送信

FAX・メール・Webの
いずれか選択された方法で
回答結果を貴院に共有

FAXサンプル

2021/12/01 11:45:13 to:0368003321 01

ユビーAI問診機器 (ユビーリンク) 回答送信日時: 2021/12/01 11:45

受診希望の方から症状チェックの回答が送信されました

このFAXは大切に保管の上、ご来院・ご連絡があった場合にご参照ください

受診希望の方の基本情報	受付番号	電話番号
モンシン タロウ (男性・55歳)	MD854236	08012345678

【主訴】
お腹が痛い

【現病歴】
11月20日(問診の3日前)に腹痛が出現している。
腹痛は急性発症で
心腰部にNRS4/10くらい。
改善も悪化もしていない。
年に数回程度は同じような症状がある。

主な陽性回答(患者が「認めない」と回答):
血便、嘔吐、嘔吐、下痢、sick contact、肉眼的血尿、1週間以内の生牡蠣・刺身・古い米・加熱不十分なレバー・生食いすけらの摂取

看護記録:
【内服薬】

SAMPLE



4. 貴院ご指定の案内に従って受付で自己申告



5. 受付スタッフから先生に報告

(ご参考)

ユビーリンク利用クリニックの声

適切な患者さんとのマッチング

市境にあるため、ユビーリンクがなければ恐らく出会えない患者さんの来院が増えた。

近隣エリアは呼吸器内科が少なく、咳喘息はコツが必要なため、他院だと診断が付かず耳鼻科など2～3箇所たらい回しにされることも少なくない。

自分が診られる診療科の人に来てもらえば適切な診療ができるし、患者さんも安心する。とくに内科は対象が広すぎるので、得意な分野の患者が来るのはいいことだと思う。

初診でもスムーズな診察を実現

深夜、体調に違和感を感じた患者さんより、ユビーAI受診相談での回答がユビーリンクのFAX送信機能で当院に。

翌日すぐに来院されたが、**どのような症状かを事前に理解できたため、スムーズに診察を進めることができた。**

かかりつけ医として地域住民の健康増進を手伝うべく、ユビーリンクを今後も活用していきたい。

患者さんの一命を取り留めた

腹痛を訴える患者さんが、朝 6時半にユビーAI受診相談のユビーリンク機能を使って問診を当院に送り、10時20分来院。

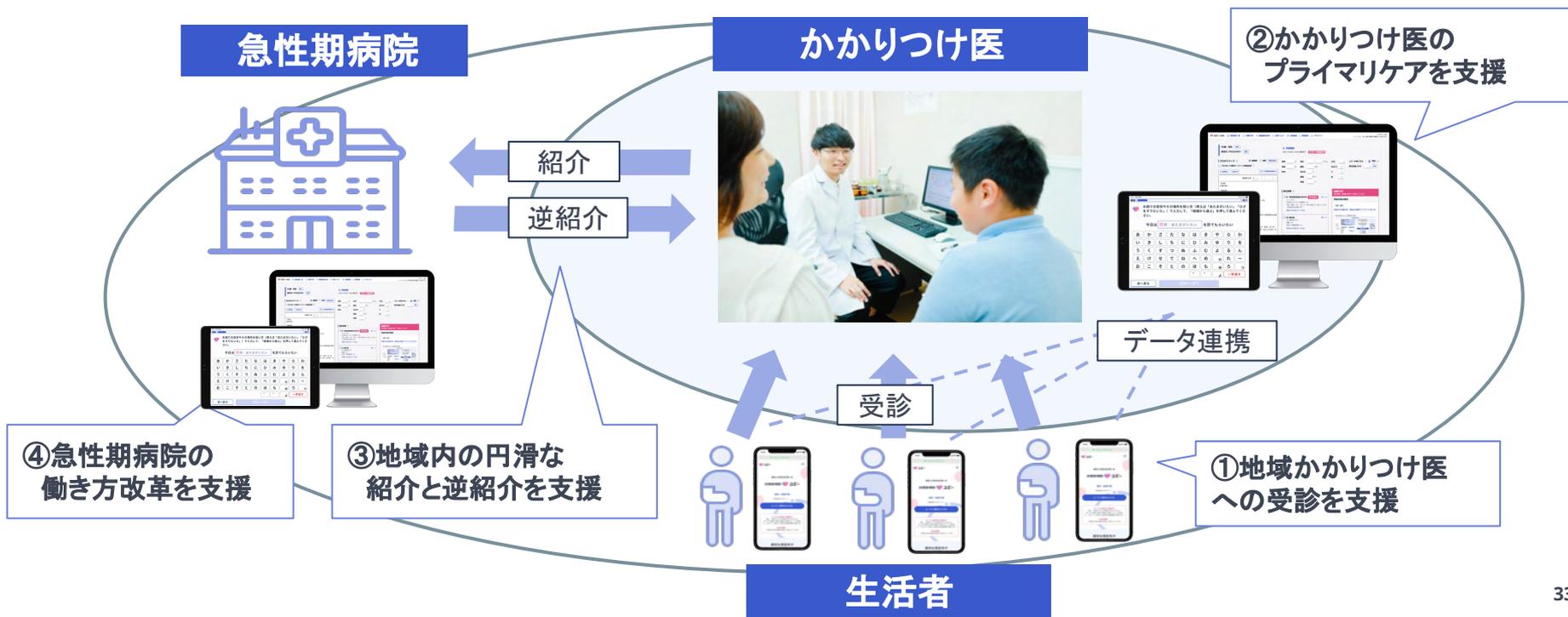
AIがまとめた情報から緊急手術が必要と即座に判断。ユビーAI問診で紹介状もすぐに作れたため、滞在時間 10分くらいで別病院の紹介に至った。

病院の外来受付期限となる 12時に間に合ったため、**命を落とさずに済んだ。**

Ubieのこれから

地域医療のDXを進め、新たな医療のかかり方の実現へ

問診データを武器に、地域医療圏の中核を担う **急性期病院**とゲートキーパーとなる **クリニック**のハブに。
「早期発見・早期受診」「かかりつけ医支援」「病診分業」を下支えし、医療資源の最適配分を実現



千葉県御宿町との地域医療のデジタル化に係る包括協定

地方自治体と連携し、持続可能な地域医療体制を支援しています。

「ユビーリンク」を活用した受診までの流れ



- 御宿町では7,000人の町民の健康を3軒の一般診療所が担っており、コロナ禍で、安定して患者を受け入れる体制を保ち続ける重要性が一層浮き彫りに
- 患者は「ユビーAI受診相談」から**症状に関する回答を来院前に送信可能に**
- 診療所は事前に症状を把握でき、業務効率化と患者さんへの一層親身な診療を実現

(ご参考)

東京都医師会と生活者・住民向けにユビーAI受診相談の連携

東京都医師会とも共同で COVID-19を踏まえた「上手な医療のかかり方」実現に向けた取組を行っています。



The screenshot shows a web interface for a clinic named "内科クリニック" (Internal Medicine Clinic). It features a search bar, a "発熱外来あり" (Fever Outpatient) button, and a list of medical departments including "総合内科専門医" (General Internal Medicine Specialist), "内科" (Internal Medicine), "呼吸器内科" (Respiratory Medicine), and "糖尿病内科" (Diabetes Medicine). Below the interface is a photograph of a modern clinic reception area with blue chairs and a desk.

医師と回答連携可

診察中

〇〇〇〇 内科クリニック

土曜診療 18:00まで診療 発熱外来あり

専門医 総合内科専門医

診療科 内科 呼吸器内科 糖尿病内科

ユビー AI受診相談

発熱外来検索機能

新型コロナに関連する症状に
対応可能な都内医療機関
約2,000件を検索可能

- オミクロン株の感染者確認など新型コロナウイルス感染症第6波を見据えた連携を実現
- 東京都医師会がホームページで公開していた**発熱外来医療機関をユビーAI受診相談上でも検索可能に**
- 第5波で問題となった「発熱相談センターにつながらない」課題を解決し、スムーズに関連症状がある生活者を適切な医療機関へ案内することで、重症化と感染拡大を防止

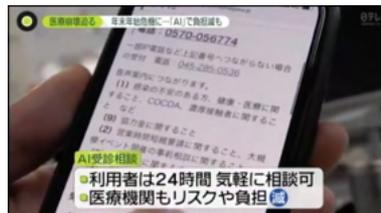
(ご参考)

海老名市、海老名市医師会、海老名総合病院との4者協働プロジェクト



- コロナ感染疑い症状がある場合に「海老名市新型コロナウイルス感染症コールセンター」へ案内
- 海老名市の保健師が受け入れ可能な医療機関へ紹介
- それ以外の症状の場合は市内の医療機関情報を提示

2020/12 日テレ「news zero」 2021/1 NHK「あさイチ」



住民のかかりつけ医への適切な受診支援と診療業務支援

まずは無料でご提供している「ユビーAI受診相談」と「ユビーリンク」を地域内の住民、医療機関に広くご利用いただくことで、住民の適切な受診行動の促進とかかりつけ医とのつながり強化により、地域全体での健康増進をご支援したいと考えております。



期待する効果(COVID-19対策／新たな日常)

	COVID-19対策として	新たな日常において
自治体	<ul style="list-style-type: none"> 住民がオンラインで適切な受診先を選定できることによる感染拡大の防止 住民が自ら適切に受診できる環境醸成によるコールセンター等の負担減少 	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見・早期受診を促すことによる住民の健康増進 スマートな受診環境の構築による地域の魅力向上(観光客・Uターン住民への発信含む)
住民	<ul style="list-style-type: none"> 自ら位置情報や診療科から適切な受診先を簡単に検索できる 事前にAI受診相談で入力した内容を医療機関に送信することで、スムーズな受診が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 適切なタイミングで適切な医療を受診することを支援(早期発見・早期受診) AI受診相談で入力した内容を医療機関に送信することで、待ち時間や手間を削減 位置情報や診療科目から医療機関を簡単に検索できる
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> 患者来院前の症状把握による発熱患者の来院時の導線分離対応 診療科のミスマッチ解消による新型コロナ疑い患者の対応の円滑化 	<ul style="list-style-type: none"> 「受診控え」の解消等により、より早期に適切な医療を提供可能に(適切な集患) 患者来院前にどのような症状があるのか把握でき、効率的な診療ができる(混雑緩和) 「かかりつけ医」の促進により地域内での適切な病診分業を後押し

アジアを起点としたグローバル進出

- 2020年8月シンガポール法人を設立
- JETRO主催「日ASEANにおけるアジアDX促進事業」に採択



- シンガポールは死因の約74%を非感染性疾患(NCDs)が占め、慢性疾患の有病率も年々上昇。65歳以上の高齢者比率も2030年には現在の日本と同水準の25%近くに達する見込み
- 日本と同様の医療水準・医療課題を抱えていることから海外進出の足掛かりとして選定
- 今後は、地理的・文化的な面で日本に似た課題を持つAsia-Pacific諸国でサービス展開予定

